

平成二十七年 度 学 力 検 査

A  
国 語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

注 意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **6** までで、六ページにわたって印刷してあります。  
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 物語の概略を説明する。
- ② 自分の思いを率直に話す。
- ③ 部屋の明かりが漏れる。
- ④ 最近は専ら小説を読んでいる。
- ⑤ 机の引き出しに手紙をほかんする。
- ⑥ 明日の試合でのふんきを期待する。
- ⑦ 一位の走者との差がちぢまる。
- ⑧ 互いに力をきそう。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十三点)

- (一) 傍線部分「窓」は総画数が十一画の漢字である。次の行書で書かれた漢字をそれぞれ楷書で書いた場合、総画数が「窓」と同じになるものはどれか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。



- (二) 傍線部分(1)「の」と用法・はたらきが同じものはどれか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、みんなで歌を歌うのは楽しい。
- イ、雨の降る日に本を読む。
- ウ、羊のような形をした雲が浮かぶ。
- エ、クッキーの作り方を習う。

- (三) 傍線部分(2)「あつけにとられて見つめているほど」とあるが、ぼくがあつけにとられたのはなぜか、その理由を、ぼくの唯一の心残りにふれて、本文中の言葉を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

- (四) 傍線部分(3)「勘違いすんなよ」とあるが、この一文を朗読するとき、どのように工夫して朗読すればよいか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、岩崎の愛想のない様子を表現するために、素っ気なく読む。
- イ、岩崎の楽しそうな様子を表現するために、軽快に読む。
- ウ、岩崎のおどおどした様子を表現するために、不安げに読む。
- エ、岩崎の晴れやかな様子を表現するために、明るく読む。

- (五) 傍線部分(4)「正直に言う」と少し後悔しているのはなぜか、その理由を、岩崎にとって憎らしかった佐藤(ぼく)の様子にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。



次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(六点)

(注1) 楚の襄王、晋の国をうたむとす。孫叔敖、これをいさめ申していはく、「園の榆の上に、蟬、露を飲まむとす。うしろに螻蛄の

討とうとした

こう言った

(注3) 庭園の榆の木の上に蟬がいて

飲もうとしている

(注4)

雙おうとしているのに気がつかない

ばかりをじっと見ていて

(注5)

をかさむとするを知らず。螻蛄、また蟬をのみまもりて、うしろに黄雀をかさむとするを知らず。黄雀、また螻蛄をのみまもりて、

榆の木の下に弓をかまえて

(注6)

後ろに掘り出した木の根っこがあることに気がつ

榆のもとに弓を引いて、童子をかさむとするを知らず。童子、また黄雀をのみまもりて、前に深き谷、後に堀株のあることを知らずし

かず、身を危険にさらしている

目前の利益のみを追いかけて、後の災難を振り返らないからである

話の意味を悟って、晋の国を攻めることを

て、身をあやまてり。これみな、前利のみ思ひて、後害をかへりみざるゆゑなり」と申せり。王、この時、悟りを開きて、晋を攻むと

やめられた

いふこと、とごまり給ひぬ。

(二十訓抄)より

(注1) 楚の襄王——楚の国の国王。

(注2) 孫叔敖——楚の国の賢者。

(注3) 榆——ニレ科の落葉高木。

(注4) 螻蛄——かまきり。

(注5) 黄雀——すずめ。

(注6) 童子——子ども。

(一) 二重傍線部分①～④の中には、主語が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 波線部分「ゆるなり」を現代仮名遣いに改め、ひらがなで書きなさい。

(三) 本文の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、蟬は、榆の木の上にいる蝸螂を見ていて、黄雀が自分を襲おうとしていることにまったく気がつかなかった。  
イ、童子は、掘り出した木の根つこの後ろにいる黄雀を射落とそうと、榆の木の上から黄雀に向けて弓をかまえた。  
ウ、晋の国を討とうとした楚の襄王は、孫叔敖がいさめて言った話の意味を悟って、晋の国を攻めることをやめた。  
エ、孫叔敖は、楚が晋を攻める理由を、晋が目前の利益のみを追いかけて、後の災難を振り返らないからだと言った。

中学生のよしえさんは、総合的な学習の時間に「日本料理」をテーマにして調べたことを発表することになり、次の【発表原稿】を作成した。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。(四点)

【発表原稿】

私は、外国人が「日本料理」をどのようにとらえているかについて調べました。

次の【資料A】、【資料B】は、平成二十五年に日本貿易振興機構が海外に居住する外国人、三千人を対象に行った、「日本料理」についての調査の結果をグラフであらわしたものです。

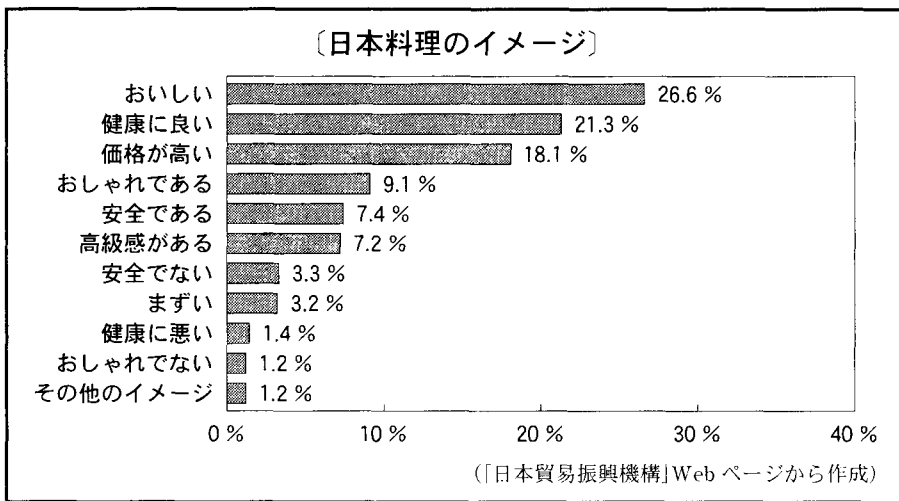
【資料A】は、この調査対象となった人の、「日本料理のイメージ」についての回答の割合を示したものです。また、【資料B】は、調査対象となった人のうち、好きな外国料理を「日本料理」と回答した千百五十二人の、「日本料理を好きな理由」についての回答の割合を示したものです。

【資料A】によると、「日本料理のイメージ」として、「おいしい」が二六・六パーセント、「健康に良い」が二一・三パーセントなど、肯定的なイメージの回答をした人が多いことがわかります。一方、「価格が高い」は一八・一パーセントであり、「日本料理」を高価格であると受け取っている実態もわかります。

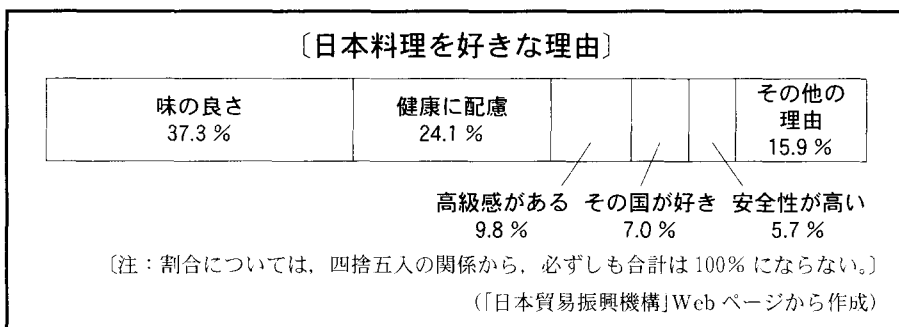
【資料B】によると、「日本料理を好きな理由」の第一位は「味の良さ」、第二位は「健康に配慮」となっており、これらのことは【資料A】の回答の結果と似ています。

以上のことから、結論として、私は、この調査対象となった外国人が、「日本料理」の味を好感を持ってとらえていると思えました。また、このこと以外にも、「健康に良い」、「健康に配慮」などの回答のように、「日本料理」を健康的な料理としてとらえていると思えました。

【資料A】



【資料B】



(一) 【発表原稿】における表現上の工夫として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、聞き手に印象深く説明するために、多くの比喩表現を用いている。  
イ、聞き手の注意を引くために、多くの慣用句や故事成語を用いている。  
ウ、聞き手の興味・関心を高めるために、専門家の発言を用いている。  
エ、聞き手への説得力を高めるために、数字などのデータを用いている。

(二) 次の【メモ】は、よしえさんが発表の結論について、その要点をまとめたものである。【メモ】の

①

に当てはまる言葉を、【発表原稿】

の中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

【メモ】

- 調査対象となった外国人が、「日本料理」の味を好感を持ってとらえていること。  
○ 調査対象となった外国人が、「日本料理」を

①

6

「日常生活におけるマナー」について、あなたの考えや意見を、あとの【注意】にしたがって書きなさい。(六点)

【注意】

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの体験や見たり聞いたりを具体的に書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい方が、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。